

第3編 長期的な教育振興の方向

急速な人口減少など大きな時代の転換点を迎える中で、今生まれた子どもたちが大人になる概ね20年後の長野県を見すえ、未来の主役である子どもたちに、どのような長野県を引き継ぐべきかという視点で、長期的な教育振興の方向を示します。

第1 基本理念

「一人ひとりの学びが生きる教育立県“信州”の創造」

子どもたちが生きる力を育み、社会的な自立に向けた基礎を築くとともに、誰もが生涯にわたって意欲をもって学び、郷土や自然を大切にしながら社会の中で能力を十分発揮できる教育を実現することで、「確かな暮らしが営まれる美しい信州」*の創造をめざします。

第2 私たちがめざす「未来の信州教育」の姿

教育立県“信州”の創造に向けて、県民みんなで教育の振興に取り組むために、次のとおり、将来実現させたい教育の姿を明らかにし、その姿に向かって施策を推進します。

1 人間力*を養う教育

- ・ 学校では少人数の学級編制やICTの活用などにより児童生徒の個性や能力を最大限に伸ばす指導が行われています。
- ・ 子どもたちは基礎的な知識・技能に加え、実社会で必要な活用力、課題探究力、コミュニケーション能力などを身に付け、地域を担い世界に貢献できる人材に育っています。
- ・ 子どもたちは発達段階に応じた体系的なキャリア教育*によって将来への目的意識を身に付けています。
- ・ 子どもたちは多様な体験活動などによる人や社会とのかかわりを通じて、規範意識や自尊感情、人を思いやる心を身に付けています。
- ・ 学校・家庭・地域が連携協力し身近な自然や文化を生かした体験型の学習が受け継がれ、子どもたちは郷土に愛着と誇りを持ち、豊かな人間性を備え、将来に希望を持って成長しています。

2 楽しく安全・安心な学び舎

- ・ 学校では、分かる授業、学ぶ楽しさを味わえる授業が行われています。
- ・ 学校では、児童生徒の人権が尊重され先生との信頼関係が築かれるとともに、相談体制が充実し、子どもたちの心の居場所が確保されています。
- ・ 学校や行政、地域住民などが連携して、いじめを見逃さない体制が確立しているとともに、不登校など悩みを抱える子どもたちに寄り添う支援が行われています。

- ・ 学校の防災機能強化や情報化など、教育環境が充実するとともに、事故などの心配が無く、子どもたちが安心して学校生活を送っています。
- ・ 地域の人々が、登下校の際に子どもたちを見守り、声をかけるなど健全な育ちを支えています。

3 自然の中でたくましく成長

- ・ 子どもたちは、自然の中での外遊びや学校での体育、スポーツ活動などを通じてたくましく健康に成長しています。
- ・ 成長段階に応じた運動プログラムが実践され、子どもたちは幼少期の運動遊びをきっかけに共に楽しみながら運動に親しむ習慣を身に付け、成長とともに体力や運動能力を向上させています。
- ・ 子どもたちは、食に関する正しい知識や食習慣を身に付けています。

4 個性を輝かせる子どもたち

- ・ 支援を必要とする子どもたちが、成長段階や障害の程度などに応じて切れ目なく支援を受けられる教育体制が整備されています。
- ・ 支援を必要とする生徒一人ひとりの能力に応じて、学校と地域社会等が連携した自立への支援が行われ、卒業後も、地域の中で社会参加をしながら生き生きと生活しています。

5 常に学び自ら活かす社会

- ・ 大学などの高等教育機関が充実し、県内にいても専門的な教育を受けられる環境が整っています。
- ・ ICTの発達などによる学習機会が充実し、誰もが生涯を通じ、自己の目的に応じて自発的に学んでいます。
- ・ 地域社会では、公民館活動やサークル活動など様々な学びの機会が提供され、互いに学び合える環境が整っています。
- ・ 子どもから高齢者まで、自分たちの地域について学習し、積極的に地域づくりに活かしています。

6 人生を彩る感動との出会い

- ・ 文化施設が充実し、多くの人々が文化や芸術に親しむとともに、個々の芸術性をその人なりに表現することで、感性を磨いています。
- ・ 地域の祭りなどの伝統文化が脈々と受け継がれ、子どもから大人まで幅広い世代が積極的に参加することで地域が活性化し人々の愛着が深まっています。
- ・ 個々の関心や適性に応じてスポーツを楽しむ環境が整備され、多くの人々が心身ともに充実した生活を送っています。
- ・ 競技に打ち込むアスリート(競技者)の姿が県民に感動と心の一体感を与えています。